

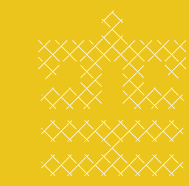


© Rut Blees Luxemburg

イカロス・プロジェクト - 光と熱の間で -

ルット・ブレス・ルクセンブルグ、
平澤賢治、リアム・ティックナー

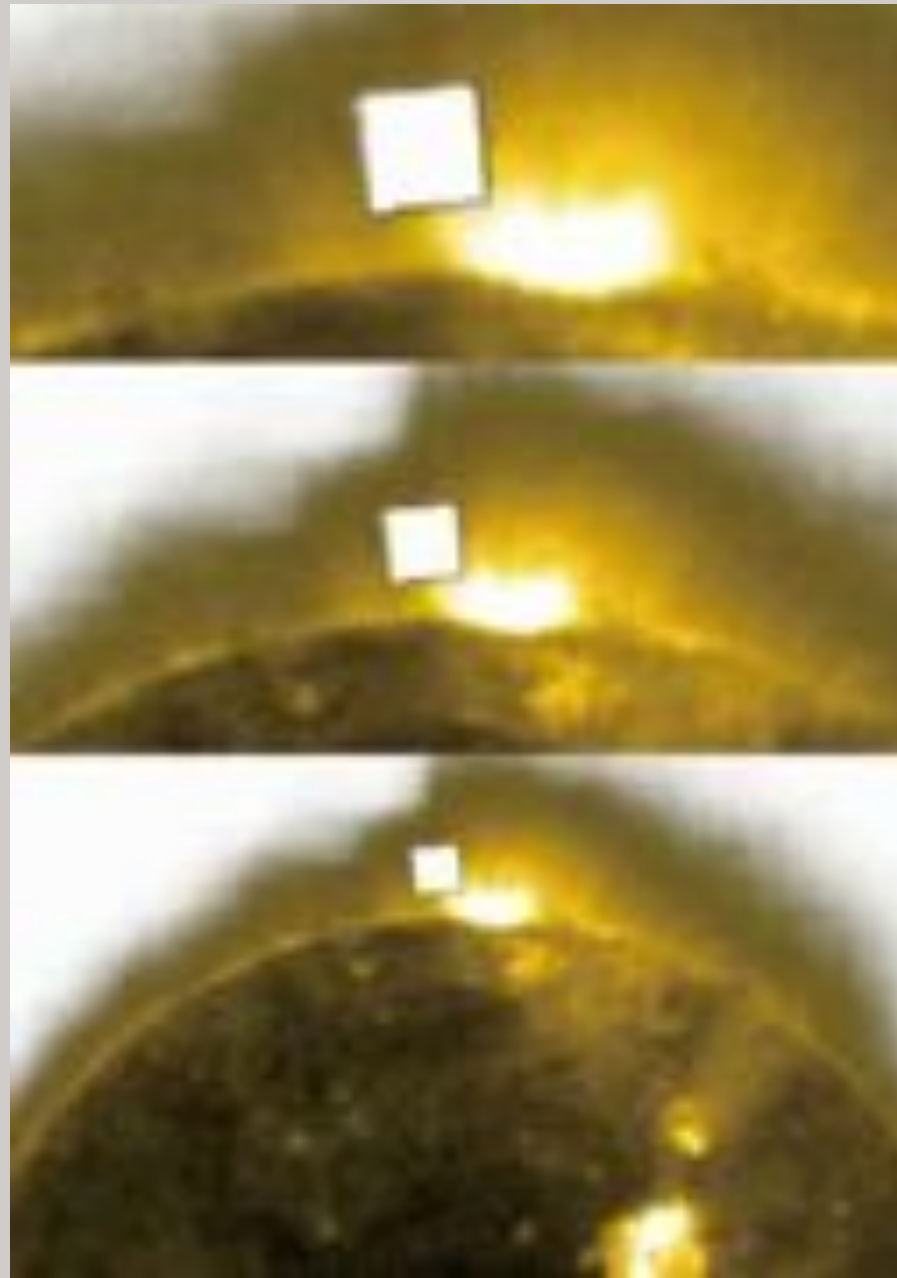
Icarus Project
In between Light and Heat
Rut Blees Luxemburg
Kenji Hirasawa and Liam Tickner
2016.10.14 Fri
→ 12.25 Sun
2016年10月14日(金)
～ 12月25日(日) ※閉廊日10月15日(土)
ESPACE KUU 空 大正大学 5号館1階
〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1



ESPACE KUU

イカロス・プロジェクトでは、写真だからこそ捉えうる物質の変容状況を検証する実験的な展覧会です。固体と液体、熱さと冷たさ、アートとサイエンス、詩的であること、科学的であることなど、この両極を明確に指し示し、3人のアーティスト、ルット・ブレス・ルクセンブーグ、平澤賢治、リアム・ティックナーの作品を共存させることで、写真の限界を考えてゆきます。この時点で既に、展示作品は単なる写真的な再現ではなく、見えないものを可視化するメディア力が問われるのみならず、そこに顕われるアイデアの閃きの変化を辿る写真体験になるでしょう。

This exhibition will explore the transformative states that the photographic image can capture. The in-between condition: between solid and liquid, hot and cold, between art and science, the poetic and scientific are the focus of this exhibition. Bringing together the work of three artists, who work at the limit of photography, the focus of the exhibition is no longer about photographic representation but the medium's ability to capture the invisible, to engage with change and excess and the attempt to visualize emergent ideas.



© Liam Tickner

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート Royal College of Art

イタリアのドムスアカデミー、アメリカのクランブルック・アカデミー・オブ・アートと並ぶ世界三大デザイン＆アートの大学院大学のひとつ。1937年創立の大学院大学で、1967年には英国王室憲章を受け、独立した大学としての地位を持ち、自ら博士号(Ph.D)を授与する数少ない大学。1920年代はイギリス彫刻の誕生に、1960年代はポップアートの発展に大きく寄与した。21世紀に入ってからは、グローバルな舞台で活躍できる次世代のアーティスト、デザイナーを育てる国境を超えたイノベーションプログラムにも積極的に取り組んでいる。

【歴代の卒業生】

ヘンリー・ムーア（彫刻家）
バーバラ・ヘップワース（彫刻家）
リドリー・スコット（映画監督）
ジェームス・ダイソン（ダイソン社創業者）
デイヴィッド・ホックニー（画家）
和田智（カーデザイナー）
クリストファー・ベイリー（バーバリー社 CEO/CD）

【歴代の教授陣】

フランシス・ベーコン（画家）
リチャード・ハミルトン（画家）
ポーリーナ・デニャ（ポール・スミス夫人）

| Curator's Message |

視覚表現のひとつである写真は近年、その飛躍的な発展のプロセスでさまざまな領域と連携や関連を保ち、新たな表現のステージへと突入しています。本展のタイトルは『イカロス・プロジェクト-光と熱の間で-』。既にそれだけでギリシア神話に登場する青年、イカロスの逸話が思い浮かぶのではないのでしょうか。鐵で固めた翼で大空を自由自在に飛翔する能力を得た彼は、或る日、不用意にも太陽に接近しすぎたことで、翼の鐵が溶け出し、墜落死を遂げます。

「イカロスの失墜」は文明を過信したテクノロジー批判として、人間の傲慢さが自らの破滅を招くことをいさめた神話として広く知られていますが、今回の展覧会では、敢えて「イカロス・プロジェクト」というテーマの下、この問題を白紙に戻して科学的に検証したいと考えました。

私たちにとって、写真とは“光と影の芸術表現”という概念が浸透しています。本展ではこの既存概念から写真表現を解き放ち、写真が伝える様々な情報をどのように読み取るかを本質的に問いかける、作品鑑賞者の“視る力”が問われる挑戦的な展覧会となっています。

それは液体なのか、それとも固体なのか？ 触ると冷たいのか、それとも暖かいのか？ 単に詩的表現に過ぎないのか、それとも科学的な立証に基づく結果なのか？ 写真を視るという行為がどれほど世界を把握する上で多くの思考を可能にし、その深化を促すのかを、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの写真部門の教官であり、第一線のアーティストとして活躍するルット・ブレス・ルクセンブーグ女史のナビゲーションで体験していただきます。

太田 菜穂子
ESPACE KUU 空 キュレーター

| 作家略歴 |

ルット・ブレス・ルクセンブーグ Rut Blees Luxemburg

1967年ドイツに生まれる。ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの都市美学の指導教官、並びに実験的なアート作品空間プロジェクト“FILET”の副ディレクターを務める。都会や都市現象をスケールの大きなパブリックアートのインスタレーションで取り上げ、その代表作のひとつ、“Silver Forest”（記念碑的な写真による都市風景）はロンドンのウェストミンスター市庁舎のファサードに恒久展示として見ることが出来る。展覧会は英国内のみならず、ヨーロッパ各地で開催されている。作品はテート美術館、ボンビドー・センター、ヴィクトリア&アルバート博物館他に収蔵されている。

平澤賢治 Kenji Hirasawa

1982年東京生まれ。ロンドンを拠点に活動する。2006年に慶應義塾大学環境情報学部を卒業。2008年より渡米。東京、ロンドンで数々のグループ展に参加するほか、SHOWstudioでも活躍。2011年、写真集『CELEBRITY』(Bemojake)を発表し、ロンドンのギャラリーKK Outletにて同タイトルの個展を開催。Paris Photo-Aperture Photo Book Award にノミネートされる。写真雑誌『PHOTOWORKS』、『GUP』の表紙に起用されるなど注目を集める。2013年、日本初個展となる『PORTRAITS』を東京B Galleryで開催し、金沢、大阪を巡回する。同年よりRoyal College of Art（英国王立芸術学院）でアートを学ぶ。2016年にはISSEY MIYAKE MENとコラボレーションし、『PORTRAITS』シリーズと新作の『HORSE』シリーズが2016年秋冬コレクションに起用される。2016年、Royal College of Artを修了する。

リアム・ティックナー Liam Tickner

1978年ドイツ・ハノーバー生まれ。ロンドンを拠点に活動。アムステルダムのリートフェルトアカデミーで写真学士を取得後、Royal College of Artに進み、写真の修士過程を修了。写真と彫刻的なインスタレーションを組み合わせることで、素材検証を追求する制作に取り組む。写真をあくまでも道具として扱い、表面や素材そのものへの最初の気づきの場として機能させ、観る者に共通言語への翻訳へと導く手法はヨーロッパを中心に高く評価され、英国のみならずオランダ、フランス、ドイツ各地の美術館で開催される数多くのグループ展に出品されている。



© Kenji HIRASAWA

Icarus Project

-In between Light and Heat-

イカロス・プロジェクト
「光と熱の間で」

会 期：2016年10月14日(金)～12月25日(日)

開場時間：10:00-19:00

閉 廊 日：10月15日(土)

入 場 料：無料

主 催：大正大学

後 援：ブリティッシュ・カウンシル / 豊島区

特別協力：NPO法人東京画

会 場：ESPACE KUU 空(エスパス空)

大正大学 5号館1階 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

出品作品：約10点

「会期中のプログラム(予定)」

・オープニングパーティー

10月14日(金)

18:00-20:00(通訳あり)

・トークプログラム

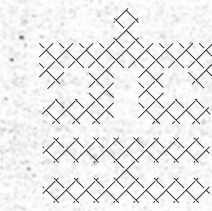
10月19日(水)

18:15-19:30(通訳あり)

ルット・プレス・ルクセンブーグ /

平澤賢治 / リアム・ティックナー

「ESPACE KUUについて」



ESPACE KUU

「エスパス空」は写真を中心とするビジュアルアートの展示を通して、学生のみならず、地域と共に新たなカルチャーを生み出す機能を果たすアートスペースを目指して開設されました。仏教系大学として培ってきたDNA、精神性を深め、人生を豊かに生きるための叡智やヒントをアーティストとオーディエンスが共有し、文化を支え合うコミュニケーションの輪がここから生まれるよう、会期中にはレクチャー、トークセッション、ワークショップ、読書会、コンサートなどを開催して参ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「キュレーション指針」

「空」の智慧である「色」(物質的实在)、「受」(外界から受ける印象)、「想」(表象)、「行」(意志)、「識」(認識)の5つのキーワードによってキュレーションされた展覧会では、オリジナルな視点から作品を読み解き、今までにはなかったアート体験をしていただくことを目的とします。

「お問い合わせ」

当リリースに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

○会場・開場時間に関する問い合わせ

大正大学 企画調整課

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

TEL:03-3918-7311(代表) kuu@mail.tais.ac.jp

○作品・作家に関する問い合わせ

株式会社クレア・インク

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-25-401

TEL:03-5410-1277

info@taisho-kuu.tokyo

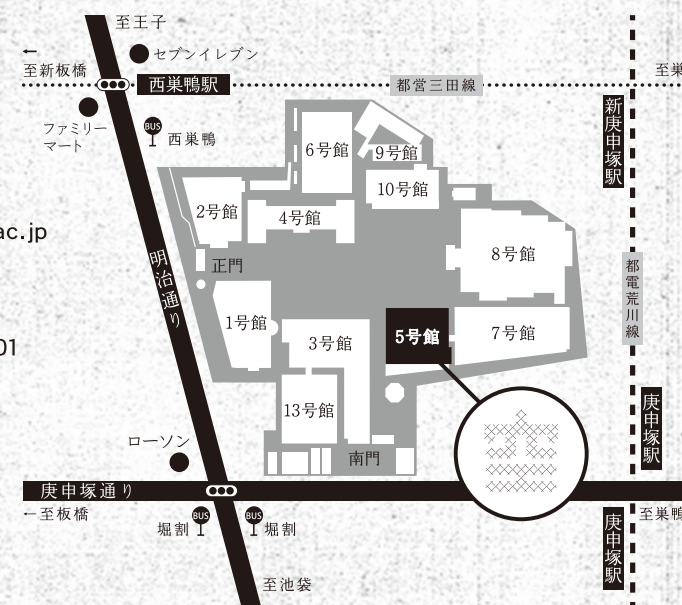
○展覧会の詳細は公式サイトをご覧ください。

・公式サイト

<http://taisho-kuu.tokyo>

・facebook ページ

<https://www.facebook.com/espacokuu>



大正大学



東京画

DESCRIBING TOKYO SCAPES
BY 100 PHOTOGRAPHERS